

宮竹学区社会福祉協議会たより

つなげよう地域の輪

つらなり

第16号

平成31年1月22日発行
宮竹学区社会福祉協議会
広報啓発部会

ふれあい交流会開催 -小学生と地域の人々と-

昨年の9月から12月にかけて、宮竹小学校4年生と、高齢者・ボランティアなど地域の人々とのふれあい交流会が、宮竹1・2丁目公民館で開かれました。

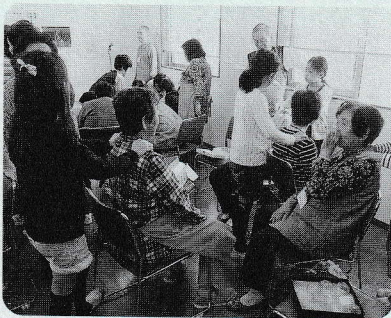
今までは毎年12月、宮竹小学校にてクリスマスリースを一緒に作ったり歌を歌ったりして交流を深めてきました。今年は福祉授業の一環として、4年生4クラス107人が1クラスずつ、毎月行っているS型デイサービス「ほっとひといき宮竹」に参加しました。小学生たちは地域の人たちに喜んでほしいと事前に色々と工夫を凝らした準備をしてきました。「ほっとひといき宮竹」恒例の「リハビリ体操」や「サザエさん体操」を全員でやり、その後小学生からは歌、リコーダー演奏、ソーラン節の踊り、寸劇などを披露。その後6グループに分かれて、ボーリング、トランプ、ビンゴ、福笑いなどのゲームやクイズ、折り紙などをして楽しみました。ゲームで使用する道具・景品などは全て手作り、心のこもった交流会に地域の人々は驚き、感激していました。

当日は70人ほどが公民館に集いあふれんばかりで、あちこちで歓声や笑いが起こり、公民館は熱気に包まれました。世代を超えた交流会はあっというまに過ぎ、全員が家族になったような和やかな1時間でした。

今では核家族化がすすみ、世代間の交流が少なくなってきており、お互いに貴重な体験になったと思います。小学生は「普段はお年寄りと遊んだり話したりすることは少ないのでとても楽しかった」「高齢の人たちが元気なのに驚いた」。またある参加者は「孫やひ孫くらいの小学生とのゲームでパワーをもらいました」「手作りのメダルをプレゼントされてうれしかった」。社協の松井会長は、「子ども達と高齢者の皆さんが、ともに楽しみ学び合ったひと時。子ども達のアイデアと活動力に『宮竹の未来』を感じました。子ども達に感謝です」と話していました。



手作りのカードでトランプ



肩をもんでもらいスッキリ



輪投げも全て手作り



全員でサザエさん体操

宮竹学区の三大行事

納涼夏祭り

昨年8月4日、高松公園で夏祭りがおこなわれました。町内ごとに様々な夜店が出て、人気の高いテントには開店前から行列ができていました。加藤連会長の開会宣言でスタートし、小学生の宮竹太鼓、盆踊り、カラオケなど楽しいプログラムが続きにぎわいました。



力強い宮竹太鼓



やぐらを囲んで盆踊り



町内ごとに工夫を凝らした出店

体育祭

昨年9月23日、宮竹小学校で体育祭が開催されました。8時30分開会式、パン食い競争で競技が始まりました。自由参加の種目も多く、普段顔を合わせる事の少ない隣人とも競技や応援を通じてたちまち意気投合。最後の年齢別代表による町内対抗リレーには、各町内から大きな声援が送られました。敷地1丁目のみごと総合優勝しました。



開会式での選手宣誓



おなじみパン食い競争



長縄飛びは疲れる～

防災訓練

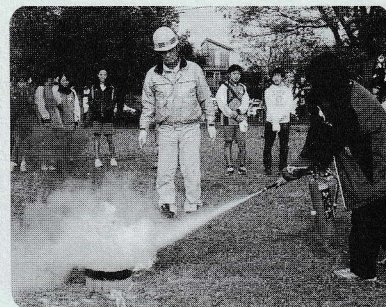
県が定める「地域防災の日」の昨年12月2日、各町内単位でそれぞれの公園を会場にして防災訓練が実施されました。町内ごと独自に訓練内容を決め災害に備えました。多くの中学生が積極的に参加し心強く感じました。



宮竹小学校に本部を設置



担架で負傷者を搬送する中学生



消火器の使い方もこれで安心

たかいち三水くらぶ

民生委員・児童委員 佐野 三恵子

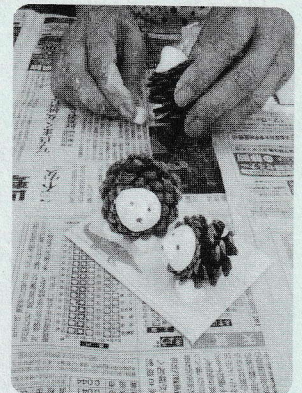
高齢化が進む昨今、お年寄りの居場所がなく、公民館ができたのをきっかけに住民の皆様のご協力のもと、たかいち三水くらぶを立ち上げました。2年8カ月が過ぎ、少しずつ皆さんに参加していただき、新しい人たちも参加して下さるようになり、人数も多くなりました。

会場の一階では麻雀、二階では将棋、手芸、おしゃべりに花を咲かせる人。午後になると体操、まちがい探し、カラオケなどを楽しんでいます。毎月第3水曜日、午前10時から午後3時まで自由に参加できます。参加費は100円です。飲み物はセルフサービスでおかわり自由、お菓子も用意してあります。会場は宮竹1・2丁目公民館です。

ちょっとのそいてみませんか。楽しいですよ。私たち仲間がお待ちしています。



芸術作品に挑戦



松かさと紙粘土でハリネズミ完成

連合婦人会活動

連合婦人会長 本多 恵美子

連合婦人会の主な活動は、宮竹学区納涼夏祭りでの盆踊り、たけっこサロンでのボランティア活動です。

盆踊りは「日本平音頭」「登呂はなつかし」「平成ちゃっきり節」「静岡音頭」「まるちゃんの静岡音頭」「炭坑節」の6曲を踊りました。私自身初めての盆踊りで不安でしたが、小沢先生が宮竹小学校体育館で熱心に指導してくださり、なんとか盆踊り当日を迎えることができました。参加してくださった皆様のおかげで盆踊りは大盛況でした。ありがとうございました。また来年も踊りたいと思います。

たけっこサロンでは、主任児童委員の石川富美江さんをはじめ、ボランティアの方々がとてもアットホームな空間を作ってくださって、参加親子の皆さんが充実した時間を過ごしていると感じます。そんな時間のお手伝いできて、私も（一緒に参加している1歳の息子も！）とても楽しいです。

連合婦人会の活動を通して、たくさんの方々と知り合えました。このつながりを、今後も大切にしていきたいと思っています。道でバッタリ会ったとき、挨拶できる人が増えるってとても素敵なことですね。



体育館で盆踊りの稽古



親子で参加のたけっこサロン



たけっこサロンのクリスマス

宮竹小学校PTAバザー報告

宮竹小学校PTA会長 藪谷 豊

昨年10月28日(日)に平成30年度宮竹小学校PTAバザーを開催しました。

天候にも恵まれ大勢のお客様にご来場いただき、おかげさまで大盛況のうちに終了することができました。

保護者や地域企業の皆様からの寄付物品販売のほか、南中学校吹奏楽部や宮竹太鼓の演奏、食品販売やゲームなどの出店により、「楽しむ」バザーを開催できたと共に、多くの収益を上げることができました。この収益は、子ども達のために大切に使用したいと考えております。

PTAバザーにご協力いただいた皆様方に感謝申し上げます。

地域の皆様には、今後とも子ども達の見守りや、PTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



正門前駐車場の飲食等のブース



メイン会場の体育館



南中学校吹奏楽部の演奏

(仮称) 静岡東スマートインターチェンジ工事進む

(仮称) 東名静岡東スマートICの工事の完成は当初の予定より1年半ほど遅れ、今年の秋となりました。NEXCO中日本の試算では、利用車両は静岡市中心部に近いことによりスマートICとしては全国トップクラスの1日14,000台、そのため本線への出入りレーン数は各2レーンとなっています。静岡市の新たな玄関の完成は地域の物流・観光の活性化に貢献すると考えられています。また新スマートICの付近一帯は、静岡市に残された数少ない市街化調整区域で現在農地ですが、今後人々の交流エリアとして開発をする構想が静岡市で進められています。

宮竹学区は、昭和47年度から54年度まで地域の大部分が区画整理事業により、農地から市街地へと変わり現在の街並みができました。今後、私たちの町を取り巻く環境は大きく変わろうとしており、私たちの生活にも少なからず影響があると思われます。地域の皆さんで力を合わせて住みよい街にしていきたいと思います。



かつては側道に桜並木



工事中のIC(左東京 昨年11月)



近隣住民の見学会(昨年7月)